

先端増養殖科学科の紹介

福井県立大学海洋生物資源学部先端増養殖科学科

末武弘章

小浜市の福井県立大学の海洋生物資源学部に加えて、2022年4月から先端増養殖科学科が新設された。海洋生物資源学部がある小浜キャンパスから約10km離れた小浜市の堅海地区に開設されたかつみキャンパスに立地している。このエリアは、福井県立大学海洋生物資源臨海研究センター、福井県栽培漁業センター、ふくい水産振興センターがある福井の新たな水産学術産業拠点である。かつみキャンパスには2階建ての学科棟と飼育棟があり、オンライン授業やゲノム編集魚などを飼育可能な設備を有している。

1学年の学生定員は30名で全国から学生が集まっている。教員は12名で、学生との距離が近い。情報科学やゲノム科学などの先端的な内容を学ぶとともに、地域とのつながりを活かした実習を重視し、リーダーシップを持って活躍する人材の育成を目指している。

研究分野は、1) 成熟制御・種苗生産分野、2) 養魚育成管理分野、3) 魚病・免疫分野、4) 育種・生物工学分野、5) 水産ビジネス情報解析分野、6) 養殖・情報科学分野からなり、新学科開設にあたり、全国から各分野のトップクラスの教員が集まった。それぞれが、グローバルな先端的研究を進めると同時に、地域の課題を地域の皆さんとともに解決することを目指す。本講演では、先端増養殖科学についてわかりやすく説明する。

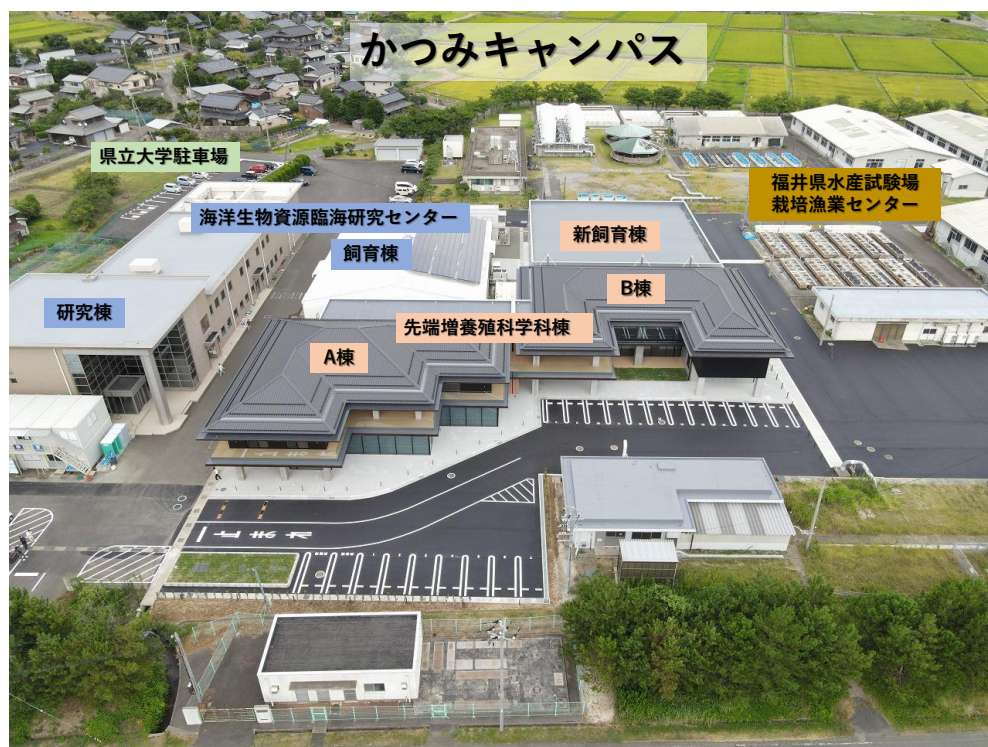


図1. かつみキャンパス全景